

「労組交流センター」代表の

三角忠は公安のスパイだ!

アメリカのアフガニスタン・イラク侵略戦争阻止!
日本の参戦を断固阻止せよ!
権力のスパイに操られた「11月労働者集会」を許すな!

日本革命的共産主義者同盟・革マル派

連絡先 解放社 東京都新宿区早稲田鶴巻町五二五 三
TEL 三三三二七一一六一

URL <http://www.jrcl.org/>
E-mail jrcl@jrcl.org

すべての労働者のみなさん!

アメリカ・ブッシュ政権によるアフガニスタン
そしてイラクに対する悪逆な報復・絶滅戦争を絶
対に許してはならない。アメリカの軍事・金融の
中枢に炸裂した九月十一日のイスラム復興主義勢
力による「反米ジハード」……これを「自由と民
主主義に対するテロ」「文明に対する野蛮な挑
戦」と描き出すブッシュは、欧州・日本の権力者
を従え、ロシアのプーチン政権と結託したアフガ
ン人民皆殺しの野蛮な侵略戦争に打って出ようと
している。そして憲法すら踏みにして自衛隊・
イージス艦のインド洋への派遣を決定したことを
手みやげに九月二十五日に訪米した小泉は、ブッ
シユに日本の参戦を誓ったのだ。

いまこそ労働者・人民は総力を挙げて、アメリ
カのアフガニスタン侵略戦争・日本の参戦を阻止
するために闘おう!

スパイが操る「11月労働者集会」

だが労働者のみなさん。警戒しよう。一部労組

幹部(実は中核派系)は、こともあるに「千葉
動労」などが呼びかけている「11月労働者集会」
なるものに労働者を欺いて動員しようとしている
のだ。この「11月労働者集会」は、たとえ戦争反
対をうたってはいても、「闘う労働組合のネット
ワーク」などでは断じてない。国家権力の走狗・
中核派がでっち上げた「労組交流センター」を中
心とした集会であり、スパイのネットワークづく
り」と言っべき犯罪的シロモノなのだ。

公調の工作員と密通する「労交
センター代表」三角忠

ここにわれわれは、怒りをこめて決定的事実を
明らかにする。「11月労働者集会」の開催を呼びか
けている「労組交流センター」の代表である三角
忠が、なんと公安調査庁の工作員・小野田猛史と
密通を重ねていたのだ。中核派は機関紙「前進」
で、「最も恥ずべきスパイ」であり、何人もの人間
を公調に引き合わせ、スパイの道に引き込む仲介
人(第2019号)の一人である小野田のこ
をのしっている。だがなんとその小野田猛史と
密かに密通しているのが「労交センター」代表の
三角忠なのだ。三角忠じしんが公安警察・公安調
査庁のスパイの一員ではないのか!

さらに左下の写真を見よ。小野田猛史が公安調
査官・樋口憲一郎と酒を飲み交わしながら、スパ



三角忠

公安調査官・樋口憲一郎とスパイ工作
の打ち合わせをする小野田猛史



公安調査庁の工作員

「労組交流センター」代表

小野田猛史と密通する三角忠

小野田猛史をスパイとののしる中核派

はできない。小野田は、自ら積極的に反革命的な情報集めのために立ち働いただけでなく、何人も人間を公調に引き合わせ、スパイの道に引き込む仲介人としての役割を買って出ているのである。その一人が美兄の小野田猛史である。両人もかつて革共同の最高幹部でありながら、党から脱党し転向し、最も恥すべきスパイに成り下がったものであり、その階級的犯罪はまことに重く。

「公調スパイ事件に対する革共同の態度」
（「前進」第2019号）



イ工作の打ち合わせをしている決定的場面を写した写真である。（『噂の真相』一九九八年十二月号）ここで小野田猛史と一緒に写っている樋口憲一郎とは、かのキツネ目の男「スパイ宮崎学から中核派の極秘情報の報告を受けていた当の公安調査官なのだ。おぞましいスパイの網の目に組み込まれていながら、「闘う組合のネットワークをつくらう」などと何食わぬ顔で労働者を欺いている三角忠。こんな男の言うことなど絶対に信用してはならない。

宮崎学は権力のスパイだ

しかも他ならぬ公安調査庁のスパイ・宮崎を昨年も、一昨年も呼んでいたのが、「11月労働者集会」ではな

い。壇上から二年連続で「連帯の挨拶」をおこなった宮崎学、グリコ・森永事件で警察に手配された「キツネ目の男」と瓜二つであることを売りものにしていあるあの宮崎学は、じつにあくどい国家権力・公安調査庁のスパイだったのだ。このことは、『公安アンダーワールド』宝島社発行、『公安調査庁スパイ工作集』（社会批評社 発行人・小西誠）などの書籍で暴露された公安調査庁・樋口調査官の報告書（1995年）でリアルに書かれている。それによれば、宮崎は公安調査官・樋口にとくとくと語っている。

「中核派政治局員の金山克巳と懇意にしており、毎回会うたびに三〇〇五〇万円をカンパしている」「二二〇〇万円を革共同（中核派）に貸した」「非公然政治局員のアジトを十カ所ほど調達してやった」「彼らは一度も金を払ったことがない」「あなたのあるところウオッチする（見張る）なら引き渡す前に場所を教えてもいい」などなど。

口先では「公安調査庁の腐敗を追及する」などいいながら、その実、秘密アジトや黒い金の提供で手玉に取った中核派の情報を公安に売り飛ばしていたのが宮崎なのだ。こんな極悪のスパイをいつたい誰の責任で集会に呼んで壇上から発言させたのだ。今年も「11月労働者集会」に労働者を欺いて連れて行くこととしている労組幹部は、「（スパイかどうかは）本人に聞いてみないとわからない」「今年はないからいいでしょう」などと破廉恥なごまかしをはかっている。ふざけるな。二年も続けてスパイのご託宣を労働者に聞かせた責任をどうとるのだ。宮崎がスパイであった事実さえ組合員に隠し



スパイの網の目！

ているではないか。

宮崎がスパイであったことは、本人自身がすでに認めていることなのだ。「スパイぐらい居ないと健康なサヨク運動ではない」「自分は清く正しく生きていくつもりはない」（宮崎のホームページ）などと平然とつぶやいているではないか。この宮崎はCIAの工作員であることを自分から問わず語りに語っている輩なのだ。しかも宮崎学がスパイ活動をおこなっていたことは「われわれにたいして宮崎が告白したところから完全に明らかである」（「前進」同）と中核派じしんも認めているのだ。

「11月労働者集会」を許すな！

「11月労働者集会」をとりしきっている「労組交流センター」の役員連中は、今、「宮崎のスパイ問題は中核派の問題、党の問題だ。自分たちは関係ない」などと居直っている。だが「労交センター」や千葉動労じしんが何度も宮崎を呼んで講演させてきたではないか。このことをまったく自己批判していないのだ。宮崎とはもう手を切った、というのでもまったく嘘ではないか。公調の工作員である小野田猛史と密通しているのが「労交センター」代表の三角忠ではないか！ここに「11月労働者集会」のうさんくささが示されているではないか。小野田猛史と密通していることを隠して、今なお、11月労働者集会の主催者づらをしてふるまっているのが三角忠なのだ！国家権力・公調のスパイ分子に操られた集会を、労働組合の名で開催することなど絶対に許すべきではないのだ。

闘う戦列をうちかためよう！

こういふスパイ連中に「戦争反対」などと口にする資格はどこにもない。「11月労働者集会」の呼びかけで「アメリカの戦争政策に反対する」とか「公安調査庁の破防法調査に反対する」などとうたっていても、それは労働者をだまくらかすための嘘八百ではないのだ。

組織犯罪対策法・破防法反対の運動に名を連ねていた宮崎学は、公安警察・公安調査庁によるスパイ工作・諜報活動に進んで協力していただけないか。アメリカや日本の侵略戦争に反対して闘う戦列の内にもぐり込み、スパイ化させた集団を利用しながら真に闘う部隊に敵対させたり戦線を分断させたりしてはいないか。公安警察・公安調査庁による弾圧・スパイ工作の手引き者を、労働運動・反対運動の戦列から今こそ叩き出そう！「労交センター」を操る三角忠、日本国家権力の走狗「中核派の幹部でもある三角忠を追放しよう！労働組合の団結を真に強化し、労働運動の再生を勝ちとろう！アメリカのアフガニスタン・イラク侵略戦争反対！日本の参戦を阻止するために総決起しよう！ともに闘おう！

解放を読もう！

革共同・革マル派機関紙

全国主要書店で販売 購読申し込みは解放社へ

週刊 8頁
300円(税別)

2年連続！公安調査庁のスパイ・宮崎学が「11月労働者集会」で連帯挨拶

たたかう労働組合の全国ネットワークをつくらう！ 11・7全国労働者総決起集会

11・7アピール
開会のあいさつ
連帯のあいさつ

中野洋
宮崎学
清水
高木
三角
金山

本集会こそ日本人民の良心

決意表明
全労連
全通連
冠鳩連合労働組合
民労連
三友労働組合
関西合同労働組合
民労連
冠鳩連合労働組合